

⑤ Int. Cl.³

F 16 H 7/00

F 16 G 1/28

F 16 H 55/30

識別記号

庁内整理番号

6361—3 J

2125—3 J

7712—3 J

⑬ 公開 昭和56年(1981)9月14日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ 巻掛伝動装置

⑯ 実 願 昭55—18846

⑰ 出 願 昭55(1980)2月15日

⑱ 考 案 者 梅田荒夫

大阪府泉南郡阪南町自然田810

⑲ 出 願 人 バンドー化学株式会社

神戸市兵庫区明和通3丁目2番
15号

⑳ 代 理 人 弁理士 清水実

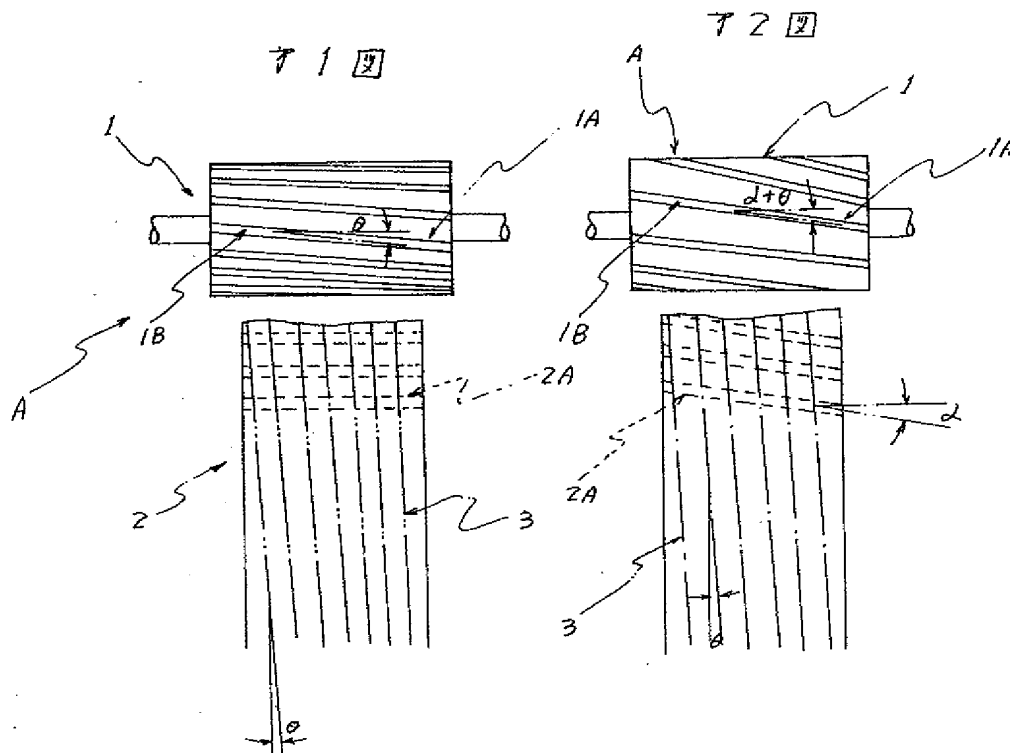
㉑ 実用新案登録請求の範囲

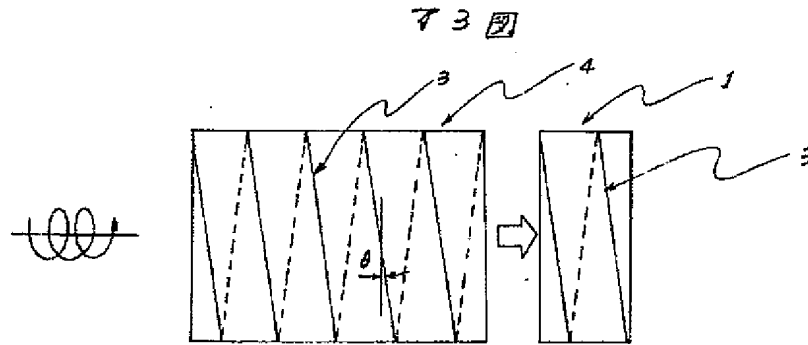
- (1) 歯付プーリの歯すじ線と、これに噛み合う歯付ベルトの歯すじ線とが、該歯付ベルト内にらせん状に巻回埋入されている補強芯のつる巻き角に相当する角度だけ交叉角を有して構成されたことを特徴とする巻掛伝動装置。
- (2) 歯付プーリ、及びこれと噛み合う歯付ベルトの歯がヘリカル歯とされている実用新案登録請求の範囲第1項記載の巻掛伝動装置。

図面の簡単な説明

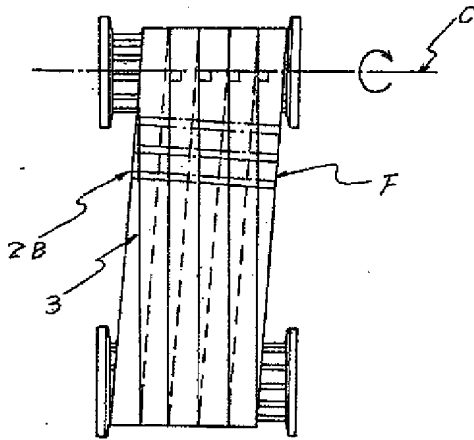
第1図はこの考案の実施例の平面図、第2図は他の実施例の平面図、第3図はこの考案の実施例の説明図、第4図は従来例の説明図、第5図イ、ロ図はこの考案の実施例の説明図、第6図及び第7図はこの考案の実施例の騒音測定の結果を示すグラフである。

A……巻掛伝動装置、1……歯付プーリ、1A……歯すじ線、1B……歯、2……歯付ベルト、2A……歯すじ線、2B……歯、 θ ……つる巻き角。

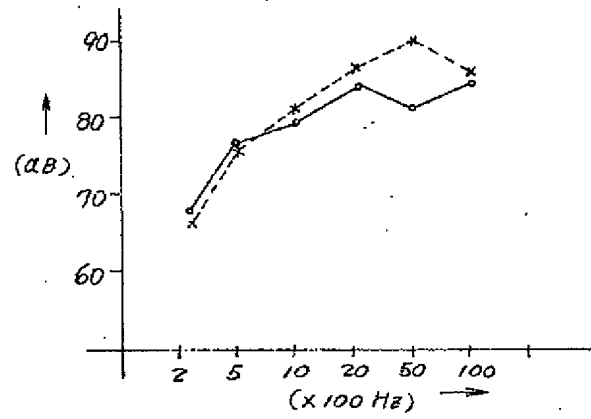




74 図



76 図



75 図

